

〈ケア〉カフェ in まび (第2回)

〈ケア〉職場で
家族の〈ケア〉で
悩んでいることはありませんか
何か、心や体の中にたまっていませんか
誰かに聞いてほしい、聞きたい、というようなことは
ないでしょうか

〈ケア〉について、話し相手がほしい、という人も
〈ケア〉のこと、なんでも
話しましょう 聴きましょう 学びましょう 語り合しましょう



■日時： 2014年 **3月30日** (日) 18:00~20:30

■会場：まびいきプラザ 1階 会議室
(倉敷市真備町川辺 2271……井原線「川辺宿」徒歩2分)

■内容

(1) 報告：米山明美 (ミニむつき庵 んっく代表、おむつフitter-1級)
——「“目からウロコ”の排せつ介助」——

- ・オムツのいろいろ……「インナー」「アウター」
- ・オムツのあて方……尿漏れをなくすポイント
- ・排泄動作を含めた移乗の方法 など

(2) 〈ケア〉のこと、なんでも、語り合い、学びあい

■会費：100円~300円 (喫茶軽食代 実費)

■参加者：〈ケア〉にかかわる人ならどなたでも (お子さん連れでもどうぞ)

■呼びかけ人：米山 明美 (看護師、介護福祉士、おむつフitter-1級)
林 道也 (社会福祉士、〈ケア〉を考える会)

■申し込み・問い合わせ：(林) 090-5366-1497 884michiya@gmail.com
飛び入り参加も歓迎です。



※ 「〈ケア〉カフェ」メーリングリスト
ここで、会の案内や情報交換を行います。
登録希望の方はお知らせ願います。

★★ 教えて下さい ★★
障害者作業所の相談員なりたてです。
制度のことなど、いろいろ聞きたいこと
があります。どなたか……。

裏面に 前回の内容を紹介しています。

「居場所」「出番」「役割」で尿失禁が少なくなった祖母

赤西 恵子（介護家族）



今から三年前、岡山の認知症の85歳の祖母は足腰弱り思うようにはトイレに行けなくなりました。紙パンツをしていましたが失禁をして布団まで濡らしてしまうことが、たびたびみられるようになりました。祖母は畳の生活にこだわり、プライドが高く、介護拒否がみられるようになり、同居していた息子夫婦の両親もお手上げでした。

当時京都に住んでいた私は、高齢生活研究所にたびたび排泄の相談に行き、尿漏れのことばかりではなく、生活全体を見てください。とアドバイスを受けました。

祖母と私の経緯

2005年7月	要介護2。デイサービス 週2日利用の介護計画
2010年5月	尿漏れが頻繁。高齢生活研究所に相談
2011年6月	私自身「葉っぱビジネス」（注）の町に約1月の研修。そこで高齢者の元気の秘訣は「居場所」と「出番」と「役割」だと学ぶ 甲状腺機能の低下、食欲不振により入院（約1月）。 退院時の再認定で要介護5 デイサービス週4日の利用 訪問リハビリ週2日 ショートステイ利用 介護ベッドの借り入れなど介護計画が増える 日常生活の中で、「居場所」「出番」「役割」を探す
2011年7月	
2012年7月	徐々に元気に 要介護4 ポータブルトイレに行けるように

（注）徳島県上勝町。「つまもの」の販売で高齢者が活躍しているビジネス。

お百姓であった祖母は、認知症になってからも、荒れた畑や竹藪を何度も何度も心配していました。これまで祖母が守っていた畑や山です。祖母にとって市一番気がかりな畑や竹藪を活用していくことで、祖母にも「居場所」と「出番」と「役割」をつくりました。

4世代の交流できる、おうちカフェ。一緒に農作業する場、竹細工やワイン作り、漬物、味噌作りなどに取り組んでいきました。人と人、人と自然、人と社会につながるにより、生活のリズムができ、多くの方と関わることで、祖母は元気になっていきました。以前は困ったことばかりに目がいき、両親も疲れ果てていましたが、生活全体を見直したことで、両親も祖母も元気になり、尿失禁が少なくなりポータブルトイレを使用できるまでに元気になりました。

※ 2014年3月15日、京都市で開かれる 〈むつき庵 10周年記念公開企画「老いを支える技法」〉でも発表します。